

式 辞

柔らかな日差しが、令和2年度の始まりに向けて、私たちにエールを送ってくれていると感じる、躍動の春。

このよき日に、ご来賓として、新篠津村 村長 石塚 隆 様、本校PTA会長 加茂 智数 様、そして保護者の皆様のご臨席を賜り、入学式が挙行できますことに心から感謝申し上げます。

20名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今日の皆さんの輝く瞳を見ていると、きっと充実した中学校生活を送ってくれるものと、頼もしさを感じます。

そんな皆さんに、校長としての思いを少しだけお話します。

「心に描いた夢や目標への挑戦」

人は、夢や目標を持ち、その達成に向けて行動することで成長を繰り返し、社会への自立をはたすことができる、すばらしさを持っています。

「心に描いた夢や目標」とは、「将来こんな職業に就きたい」「勉強ができるようになりたい」「プロスポーツ選手になりたい」といった将来の夢、一人一人が持つ願いのことです。「夢や目標」は変わってもかまいません。たくさん心に描いてください。そして実現するために、あきらめずに、挑戦し続けてください。それが社会への自立につながります。

夢の実現に向けて、一歩ずつ努力を積み重ねていくのが学校です。

いろいろな成功や失敗を繰り返し、たくさん経験から、自分にあった道を見つけていくのも学校です。

家族、仲間、先生や地域の方々、いろいろな人たちに支えられ、今の自分があるんだ、ということに気づき、思いやりや感謝の気持ちを育てていくのも学校です。

中学校の先生方は、いつも皆さん一人一人と向き合い、成長を願いながら、勉強面・生活面、全ての面で、全力サポートしていくステキな先生ばかりです。

今日は式に参加できませんでしたが、二、三年生は、仲間を大切にする優しさを持ち、いろいろなことに挑戦するすばらしい子ども達です。そんな先輩方・保護者・地域の方々も皆さんのことを応援してくれます。

何の心配もありません。中学校3年間、大いに自分磨きをしてください。

終わりにになりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学を心から歓迎いたします。

私たち全教職員は「自立と感謝」を合言葉として、家庭や地域との連携を密にしながら、子どもたちが自分の夢の実現に向け、たくましく成長し続けることができるよう、全力を注いでいきたいと思っております。本校教育活動に対し、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

「ふれあいの里 新篠津」で、人のぬくもりを感じながら、子どもたちが心豊かに成長してくれることを期待して、結びといたします。

令和2年4月6日

新篠津村立新篠津中学校

校長 吉本 浩志